

南仏治安情報 (2011年4月)

■プロヴァンス地方

1. 武器を用いた強盗恐喝事件が多発

先月に引き続き、当地方ではタバコ屋や小型商店、宝石店などを狙った強盗恐喝事件が多発しています。地方紙が報じたものだけで25件の武器を用いた強盗恐喝事件が起こり、内5件はエクス・アン・プロヴァンス市で起きました。多額の現金を狙ったカジノへの強盗事件が連続して起こっている他、マルセイユでは旅行代理店が繰り返し被害に遭っています。

2. マルセイユ市内のひったくり事件が15%増加

気候が良くなり軽装の人が増えるにつれ、金の装飾品を狙ったひったくりが急増しています。マルセイユでは1日平均30件の被害届が出されており、本年1～3月では累計2291件と前年同時期の1935件に比べひったくり発生件数は大幅な増加を見せています。金の装飾品の他には高機能な携帯電話も頻繁に狙われ、被害者は性別、年齢を問いません。十分にご注意ください。

3. 携帯電話の盗難の際には

最近の携帯電話は高機能で盗んだ後も転売しやすいことから、頻繁に引ったくりや恐喝の対象になっています。これを受け3月14日に、盗難の被害届が出されたら警察から携帯電話会社に連絡され、4日間通話不能とする法令が新たに制定されました。使用の際は十分に注意をし、万が一被害に遭った時は速やかに被害届を出すように心がけてください。

4. インターネットを介した詐欺に注意を

フランスでは年間5000件近くのインターネットを介した詐欺が起きており、毎年10%のペースで増加しています。銀行員になりすまし個人情報を送るよう要求するもの、宝くじに当選したように見せかけ賞金の受取りのため手数料を求めるもの、高額な遺産を譲渡するために個人情報を求めるもの等、組織立った犯行も多く見られています。電子メール等での怪しい勧誘には決して答えず、被害に遭ったら速やかに0811 020 217 または www.internet-signalement.gouv.fr まで通報するよう警察は呼びかけています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. ニース市内での犯罪統計

警察の発表によるとニース市内で起きたひったくりや暴力事件などの対人犯罪は、2011年2月1269件から3月1440件と若干増加傾向にあるようです。ただ1～3月の合計は3903件と、前年同時期の4530件に比べると14%近くも減少しているようです。これから観光シーズンを迎え、窃盗事件や夜間の暴力行為なども増えることが予想されますのでご注意ください。

2. 麻薬取引グループ10名を逮捕

4月中旬にはカンヌ市、Mougins市、ニース市東部で10名の麻薬取引者2グループが逮捕されました。いずれも数年にわたる警察の捜査の成果で、運び屋グループの逮捕の際には武器や現金34万ユーロ、カナビス売人グループ逮捕の際には麻薬売上金6万ユーロおよび高級車などが押収されました。

3. コルシカ島での殺人事件

4月にはコルシカ島内で2件の殺人事件が報じられました。4月5日夜 Ajaccio 市で26歳男性が自宅前で何者かにより散弾銃で背中を狙撃され死亡しました。また21日午後には Porticcio 市で元女性市長の Marie-Jeanne Bozzi 氏がスクーターに乗った男に射殺されました。いずれの事件も犯人は未だ逮捕されていません。

4. カード詐欺の新たな手口

コートダジュール地方など観光客の多い地方の自動現金引出機に細工をして、個人情報盗んで偽造カードを製造していたルーマニア人家族がマルセイユで逮捕されました。犯人グループの手口では、引出機付近に設置した小型カメラや暗証番号記録装置によりカード情報を盗み出し、生カードの磁気テープ部分に同情報を記録させ、海外に持ち出して現金を引き出していたようです。カードが紛失するわけではないので被害者は気づきにくく大きな被害につながるようです。

■ミディ・ピレネー地方

1. 金属部品の窃盗事件が依然として多発

前月に引き続き4月中にも鋼を使用した金属部品を狙った窃盗事件が相次ぎました。地方紙が報じたものだけでも当地方で9件起こっており、電話ケーブルや工事用機械のほか、ブドウ畑の鉄製の杭やトゥールーズ市内の街灯のための配電ケーブルなども狙われています。中には盗むためにガス管を切断した結果ガス漏れに発展する事件もありました。

2. 夜間のアルコール飲料販売、新たな規制

泥酔した若者達や路上生活者による喧嘩や暴力行為、破壊行為などの被害が多く見られるトゥールーズ市サン・ピエール広場周辺では、各商店に対してアルコール飲料の販売を夜間22時以降禁止し、深夜3時までには閉店する規制の他、店内に監視カメラを設置することが決まりました。

3. モンペリエ市中心部での自転車窃盗が多発

モンペリエ市内では自転車の窃盗事件が多く見られており、県内の事件の3分の2は市中心部で起きています。3月下旬には市内で40台以上の自転車を盗み転売した男が逮捕されました。夜間は屋外に置かない、駐輪時は人通りの多い場所を選ぶ、自転車の登録番号を控える、盗難防止にはケーブルやチェーンではなくU字形のものを選ぶなど注意をしてください。

4. 蚊の大発生を予防するために

地中海沿岸の各県では、今夏の蚊の大発生を避けるため4月に入り既に湿地帯45000ヘクタール中3分の1に幼虫(ボウフラ)の退治薬が散布されています。3月に湿度が高い期間の後急激に気温が上昇したため、蚊の発生には適した気候となっています。チキングニヤ熱を媒介する種類の蚊は5月頃から地中海沿岸に見られるため、専門家の監視強化の他、各家庭でも蚊の産卵場所となる水溜りを作らないよう注意が呼びかけられています。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。